

男女共同参画シンポジウム～地域社会は女性の力を生かしていますか～ 実施報告

1 日時

令和8年7月17日（金）13：30～15：30

2 場所

長野市ふれあい福祉センター 5階 ホール

3 参加者

一般聴講 50人（支所長含む）

地域活動支援課職員 9人

4 概要

(1) 基調講演

「地域社会における女性の過少代表性の構造 ―なぜ女性区長は少ないのか―」

講師 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授 築山 秀夫氏

(2) パネルディスカッション

「行政連絡区における女性参画の実際と課題」

コーディネーター 基調講演講師 築山 秀夫氏

パネリスト 令和7年度女性区長

第二地区東町区長

井口 優子氏

若槻地区徳間区前区長

羽田 やよえ氏

篠ノ井地区川柳地域大当区前区長

田中 美枝子氏

更北地区青木島地区丹波島区長

鈴木 和代氏

〔内容概略〕

ア パネリストの自己紹介・どのように区長に選出されたか・区長を経験しての感想・仕事内容を中心に次のとおり発言

- ・選出は、前任役員から依頼
- ・非常に多忙だったが、女性から声をかけやすかったとの意見や地域のことがよく分かるようになり、大変だったが、楽しかった。
- ・前例踏襲を改革したことが次のように挙げられた
 - ・会議の後の懇親会の回数や役員外の女性が当番制で行っていた準備片づけを出席者が行うことに変更
 - ・公民館清掃当番を女性だけから世帯1名参加（男女問わない）と変更
 - ・メール活用による不要な会議の廃止
 - ・役員決めの前役員による訪問をやめ、組長による選出 等

- イ 女性が意思決定の場に出るようにするためにはどうしたらいいと思うか。
- ▶ 家父長制、男性は主で、女性が出ると生意気との声がある。そこで、このような男女共同参画について考える講演会等を開催し、男性に参加してもらうことが重要
 - ▶ 役員決めの際に複数であれば、男女同数で役員を出すことが必要
 - ▶ 「区長は男性」という意識を社会全体で持っており、女性も同様。女性自身も役員を拒否しない意識が大切
 - ▶ 家族（夫）の意識改革。夫の反対が理由で断ったり、夫が断ったりするケースがある。今日、このシンポジウムを聞いて帰ったら、「女性区長はこんな感じでやっているよ」という話をしてもらえると、「私もやれるかな」と思う方もいるかもしれない。また、地区でも、「うちの区でも、そういうこと進めることができるのではないか」となるのではないか。
 - ▶ 区の行事を少なくすることを考えるべき。行事の評価をして検討することが必要
 - ▶ 女性からの協力も必要。女性役員も一つ終わるといなくなるが、その他の役についても、考えてもらいたい。

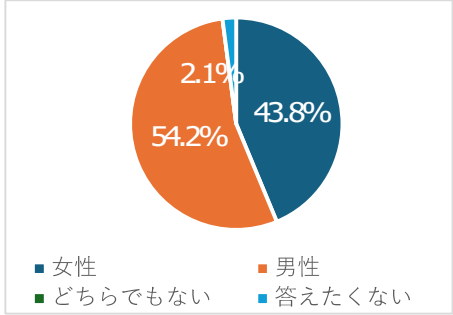
5 アンケート

別紙のとおり

男女共同参画シンポジウム～地域社会は女性の力を生かしていますか～
アンケート結果

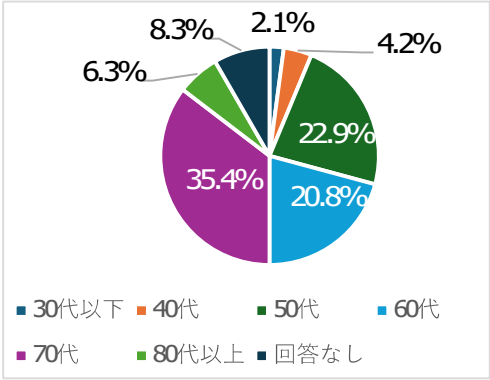
(回答者:48人)

問1 性別(自認する性)



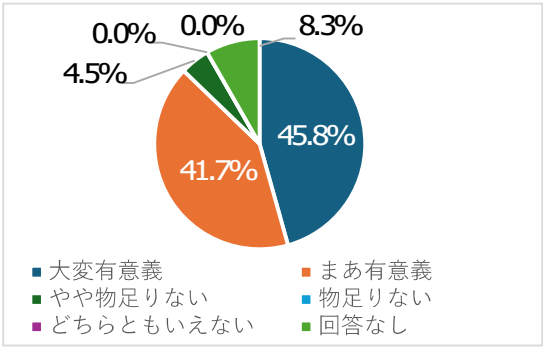
選択項目	人数	割合
女性	21	43.8%
男性	26	54.2%
どちらでもない	0	0.0%
答えたくない	1	2.1%

年代



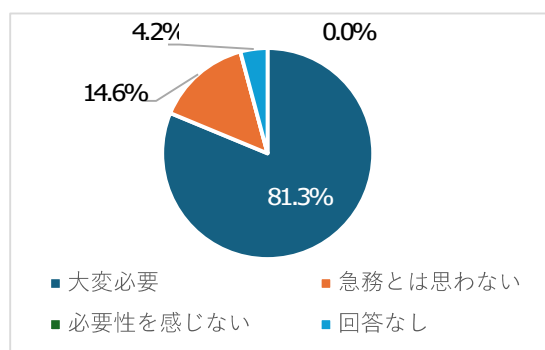
選択項目	人数	割合
30代以下	1	2.1%
40代	2	4.2%
50代	11	22.9%
60代	10	20.8%
70代	17	35.4%
80代以上	3	6.3%
回答なし	4	8.3%

問2 今日のシンポジウムはいかがでしたか



選択項目	人数	割合
大変有意義	22	45.8%
まあ有意義	20	41.7%
やや物足りない	2	4.5%
物足りない	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%
回答なし	4	8.3%

問3 地区(住民自治協議会を含む)での役員への女性の参画について、どのように考えるか、またその理由



選択項目	人数	割合
大変必要	39	81.3%
急務とは思わない	7	14.6%
必要性を感じない	0	0.0%
回答なし	2	4.2%

《理由》

〔「大変必要」選択〕

- ・人口減少の中、女性も参画しないと地区として人手不足を理由に成立できないため。
- ・担い手がいらない。
- ・男女平等の社会が当たり前
- ・歴史的に大政翼賛会の下部組織だった意識が今でも続いているのだと考えると、男女平等とは程遠いということが納得できた。
- ・一番女性の参画が遅い可能性があると思いますので。
- ・必要だから。
- ・男性と違った目線で改革が行われる。
- ・運営に女性の視点がほしい。
- ・男女同数の参画が当然だと思う。
- ・地区は健康な男性だけで成り立っていないものではないから、まずは女性が参画し、多様な組織をつくる必要があるから。
- ・役員のなり手不足
- ・この世は男だけで動いているわけではなく、女性参画は当たり前のこと。
- ・担い手不足だから。
- ・役員のなり手がいないことも含め、女性の参画は必要だと思う。
- ・役員になると大変というイメージをどう変えるか、チーム制、プロジェクト制、参加したくなる、楽しく参加できる工夫が必要。自分事にする。できることで参加する仕組み。役を減らす。⇒楽しければ地区もよくなると信じる(自治会解散もいいかもしれない。)。長野の人はまじめだなあと感じます。
- ・女性目線は必要である。
- ・日本が変わっていくための要素ひとつとなと感じるので。
- ・考え方が論理的、事務的要素に長けている。
- ・担い手不足解消につながる。多様な主体が関わることでパフォーマンスが向上することは組織論ではエビデンスあり
- ・多様な視点が生まれ、より良い地域になると思うから。
- ・細かい配慮ができると思います。多様な人との連携が可能
- ・モデルともなり、今後に影響が大きいから。

- ・他人事を自分事として考えてほしい。
- ・高齢者に女性が多い、女性の活躍により、組織の活性化
- ・能力云々ではなく、男性だけではなり手が足りない。

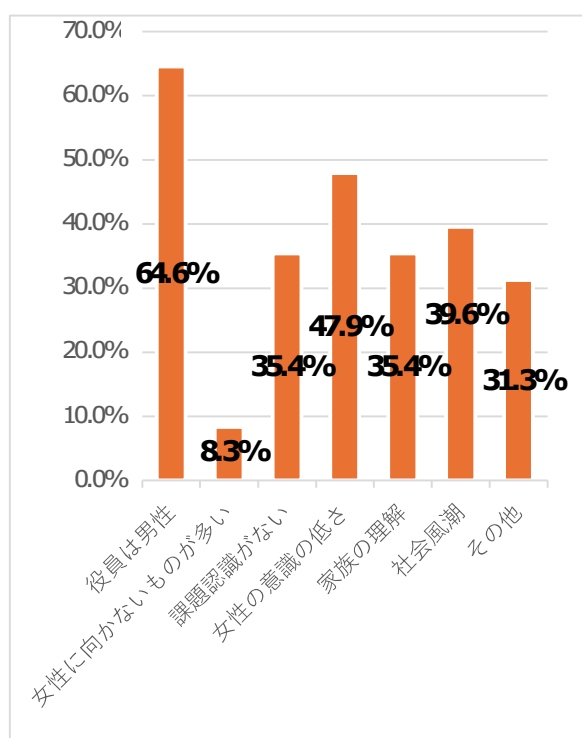
〔「急務とは思わない」選択〕

- ・性別に関係なくやれる人がやればと思っていたが、それでは何も変わらない。
- ・女性の意識の問題だと思います。

〔「回答なし」〕

- ・女性、男性、別々の参画意識はない。
- ・男女共同参画を声高に主張している。また各地区に有能な女性が多数いるが、役員になって中から変わる様に協力してほしいと説得してもなかなか返事はしてくれない。

4 地区役員（概ね女性だけで構成の団体長等は除く。住民自治協議会を含む）の女性の参画が進まないのは、なぜか



選択項目	人数	割合
役員は男性	31	64.6%
女性に向かないものが多い	4	8.3%
課題認識がない	17	35.4%
女性の意識の低さ	23	47.9%
家族の理解	17	35.4%
社会風潮	19	39.6%
その他	15	31.3%

《その他》

- ・世帯の代表が世帯主＝男という形態のため。
- ・社会の認識不足、意識改革が必要、女性の経済的自立も必要
- ・(女性の参画意識の低さ)きっかけづくり
- ・一部の方々が既得権益としてしまっている。
- ・(女性の意識の低さ)そう思っている、或いは思わされている。
- ・役員の仕事量が多すぎるで「やりたくない」が本音では…何年も続くのも大変
- ・業務が大変多忙。女性は断ってもマイナスがない。
- ・区の構成単位が世帯であり、世帯主がその代表という構図の中で動いているから。
- ・「多忙で大変である」と思っているのだ。
- ・これまでの慣習、思い込み

- ・男性意見が論破される。子育て施策は適任。「男性が嫌がるだけでは？」
- ・家父長制、家制度、男尊女卑、人権意識の低さ
- ・事例が少ない。
- ・個人ではなく世帯単位で役割を決めることも影響していると思う。役員になる前の人脈、地区内のコミュニティの状況など下地となる住民の関係性において、そもそも男女に違いがあること。世帯当たりの人数の減少、一人暮らしの増加もあり、実は女性の方が動ける世帯もあると思う(若い人の場合も同様)。役員決めの際に、男性のみ候補に挙げる習慣が考え直したらよいと思う。
- ・男性もやりたくない役割を女性にお願いできない。
- ・女性の就労率の高さ

5 その他、本シンポジウムの感想、女性の地域参画推進への提案、地域のこと、男女共同参画全般について

- ・女性区長さんのお話を聞けて大変良かったです。女性の社会、地域コミュニティへの参加は、今後、必要不可欠だと考えています。頭の固い世代が少なくなってきましたので、今後に期待したいです。
- ・地区役員…区長さんだけでなく、地区の中には様々な役割があります。女性も色々な立場で地区内で参加していけばいいのではないかと思います。
- ・区長の挨拶はなくす(挨拶するのが苦手だとしている人が多い)。区長職の仕事を分散化(男女誰でも)、極端だがそのポストを作らなくも行政が回る方法。副区長の多数化
- ・女性区長の皆様の体験談が大変興味深く聞かせていただきました。現在がまさにターニングポイントであることがわかりました。
- ・女性の意見を聞くことが少ないので、今日は前向きな話をしていただき、参考になりました。
- ・大変面白いシンポジウムでした。築山先生の未来への提言が一番良かったです。参考になりました。
- ・男女ともにねばり強く必要性を啓蒙していくことが大切
- ・地区内でも議論したい。
- ・まずは家庭の中で女性が区長として出ていくことを応援し、認めることが大事(夫若しくは子ども等の家族)
- ・出席して良かったです。パネルディスカッション、他地区のお話が聞けて楽しく、なるほど…と思ったり充実した時間でした。昔からそうだから…ずっとそうだから…と改革が進まないのも問題です。役職の内容(活動内容)がわからないまま役員を受けたら他にも沢山役が付いてくるのはびっくりです。
- ・区長、地域の役員ではないですが、地域から1名ずつ女性に参加してもらい、地域全体の活性について、意見を出しながら活動に結びつけている。男性とは違った意見、考え、気づき等により有意義な活動ができている。部会の1つとして位置づけている。
- ・女性は必要。スムーズに上番できるように、段階的に役をやっていただくことはとてもいいことと感じました。ありがとうございました
- ・大変勉強になりました。行政と自治会組織のあいまいさが理解できました。住民自治はとても大事なことであることも認識しました。福岡県の事例はバッシングがなかったのか、気になりました。全国的に自治会長のなり手は男性であり、それを示すデータもあり、大変理解できたが、どうして長野に特に女性のなり手が少ないのか、それは意識なのか、女性ができないと思う行事があるのか、“土地特有の何か”が何か気になりました。男性の参加者が多かったので意見を聞きたかった。
- ・主催者である長野市は自らの男女共同参画の数字をまずあげるべきでは。また、本会議には住自協を管轄する地域活動支援課の方は参加されていたのでしょうか。
- ・パネリストへの質問時間がほしかった。次の区長は女性になるかの問いがほしかった。
- ・女性の意識と同時に地区役員は男性という考えを変えなければ増えないと思う。

・女性目線が重要。長にならなくても事業の推進ができるようにすることが重要

・女性の活動に、全面的に支援、応援することが大切

・若い世代の参加があるといいと思います。学生でもジェンダーギャップを感じていると思うし、若い人に地域にどうやったら参加できるか聞いてみるのもいいと思います。男性の意見を聞く機会も必要だと思いました。質問・感想の時間を取ってほしいです。

・まず、住民自治協議会の中核に女性をおく必要があるかと思います。予算のつけ方に疑問を感じるものがあつたので、やはり女性目線が必要なのではないかと思います。築山先生の社会規範を変えることが大切というお話に拍手！！

・役員が枯渇しているが、仕事しながら役員業務ができる仕組みづくり(男女問わず)、業務の棚卸、活動時間の工夫をトライアンドエラーでチャレンジ

・区長を経験された方の話がとても勉強になりました。(区長の妻が結局裏方になっており、それを表に出し役をつけたという話、女性がケア役割を無償で担ってきたことがわかりました)ありがとうございました。

・女性の参画する場合は家族の理解が必要と思います。これが一番大事なことと思っています。複数の役員を選出するときは、男性〇名女性〇名と平等に分けることが必要

・実際に女性役員の方のお話を聞くことができて貴重な時間となりました。「役員は男性がやるもの」という女性自身が持つ考えも変えなければならぬと気付くことができました。女性の参画を進めることで多様な声を反映し、持続可能な地域社会になってほしいと思いました。

・女性も能力のある人は、地域の役員になるべきだと思う。

・私もできるのかな？と思えるようなシンポジウムでした。

・この様な会を各地域などでも開催してほしい。区ごとの昔ながらの慣習を見直すことも何らかの方法で促すことも必要か。

・判らないことを区長に聞いても「私もわからない」の返答？まずは受け入れて他の役員に聞いてからの返答がほしかった。住自協の職員に〇区の区長の電話番号を教えてくださいませんか？と聞いたら「個人情報なので教えられません」と…何のための代表としてついておられるのか。

・地域の男女共同参画は特に遅れており、大きな課題だと思います。このような会の企画開催、とても良いと思います。ありがとうございました。

・区長になる資質の女性はたくさんいるはず。そんな方々が区長になれる環境が早く整うことを望みます。

・男性がやるという封建的な考え方。子育ては男女の協力が必要、一般家庭の中で女性を支援する夫や家人の意識を変えて。市の役員依頼が多すぎる。市でやるべきことは、職員に係わってもらいたい。

・パネルディスカッションで女性区長の挨拶が参考になった。区長の問題は女性等、別ではなく男性も同じ

・本日の女性区長さんの3人が区長業務の多忙さを話していた。区長業務の見直しをしないと参画推進は難しいのではないかな。また業務の多くがボランティアで無給。活動に対しては多少なりとも報酬を出したり、活動の楽しさをPRする等、インセンティブにつながるものが必要ではないか。